

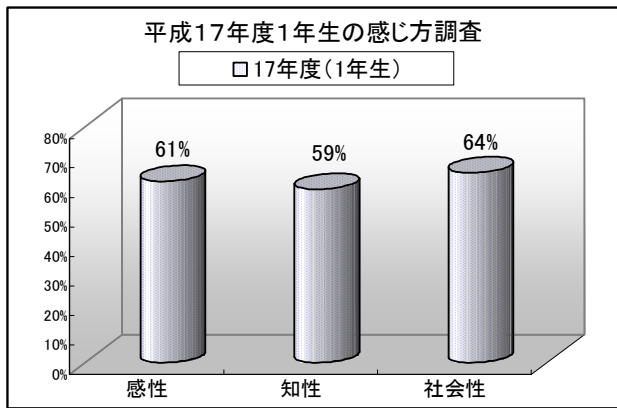
D-2 感じ方調査（感性テスト）の結果

本校では、学習評価の一環として「総合的な学習の時間」実施初年度（平成11年度）より継続して感性テストを実施してきた。これは、生徒に学習を通してつけて欲しい力、すなわち、「感性」「知性」「社会性」の3観点からなり、実施結果を教師の指導方法の改善の参考とするものである。

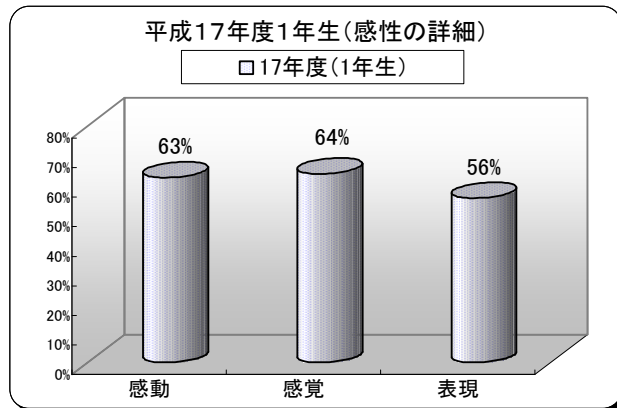
内容は、関連する短い文章を自分にあてはまる度合いで4（良くあてはまる）～1（あてはまらない）の数値で自己評価をして回答するものである。「感性」とは感動、感覚、表現、「知性」とは論理的・客観的な判断や実践、「社会性」とはルールやマナー、他者との協力等と捉えている。また、感性テストは、学年が進む中での学習の成果をみるものであることから学年間の比較を目的とはしていない。

本年度のアンケート結果からは、例年通り、学年による数値の違いはあるが全体として高い数値を示しており、3年間を通して順調に「感性」が育っている事が読みとれる。このことは、総合的な学習の時間、教科学習、学校行事等を連携して行っている成果と捉えることができる。今後とも継続して深めていきたいものである。

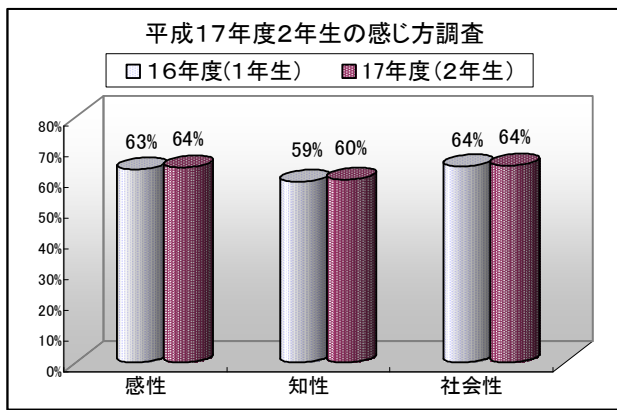
課題としては、「感性」の中における「表現」がどの学年においても低い数値となっていることがあげられる。学習を通してつけた力を生かすことができるように、意識的に「総合的な学習の時間」と連携した授業を日常的に展開しなければならないと考える。また、学校生活全般においても学んだことを生かすために、各場面で生徒が自主的に活動するよう支援をしていきたいものである。



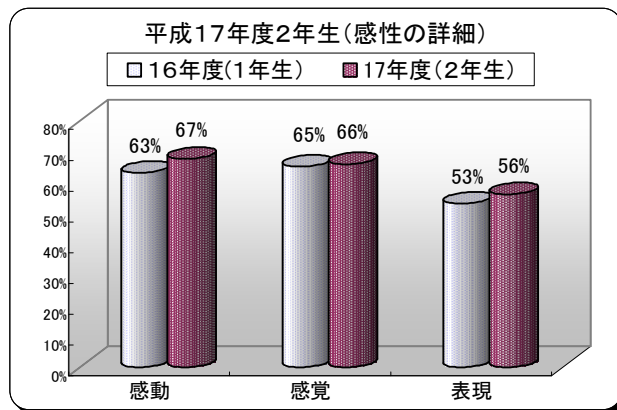
1年生	感性	知性	社会性
17年度(1年生)	61%	59%	64%



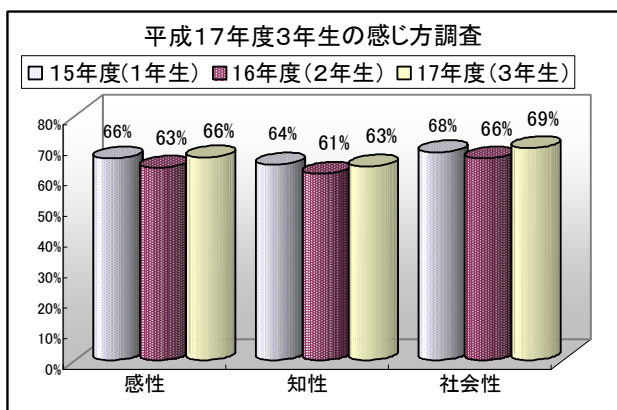
1年生	感動	感覚	表現
17年度(1年生)	63%	64%	56%



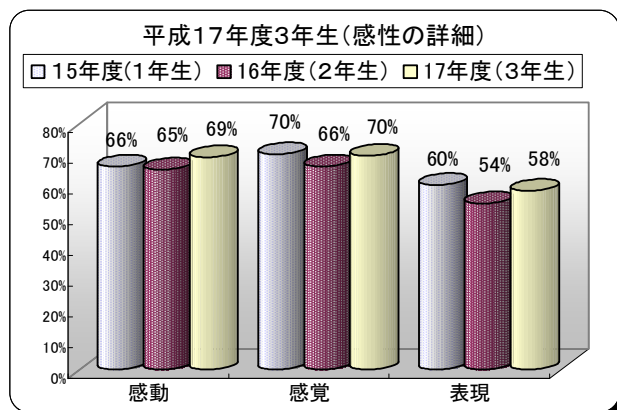
2年生	感性	知性	社会性
16年度(1年生)	63%	59%	64%
17年度(2年生)	64%	60%	64%



2年生	感動	感覚	表現
16年度(1年生)	63%	65%	53%
17年度(2年生)	67%	66%	56%



3年生	感性	知性	社会性
15年度(1年生)	66%	64%	68%
16年度(2年生)	63%	61%	66%
17年度(3年生)	66%	63%	69%



3年生	感動	感覚	表現
15年度(1年生)	66%	70%	60%
16年度(2年生)	65%	66%	54%
17年度(3年生)	69%	70%	58%